



「いじめ対策監」の実効性を 市長ホットライン創設で担保せよ！

今もある「いじめ問題」指摘、松原のりかず質問！

市議会本会議（12月7日）松原のりかず は、市民からの情報で、今もある「いじめ」実態を指摘し質問。教育長に改善を求めました。質問は以下のとおり。

松原のりかず質問

教育現場の、今日までの隠蔽問題の事例について、今日まで何点が指摘して来ました。今回の、「いじめ問題」発覚の経過と問題点について改善を求めます。市内小学校6年生に対する、現在進行形ですが、その「いじめ」実態について質問します。

2019年7月3日の中学生転落自死から、17カ月が経過しました。この間「岐阜市いじめ防止推進条例」が作られ、「いじめ対策監」も配置されました。本議会12月3日、渡辺議員が「いじめ対策監の配置の効果や現状について」質問されています。答弁で「学校の隅々まで、いじめを許さない、見逃さないという取り組みが浸透してきている成果」と、教育長は発言されていますが、しかし、少し違うようです。

11月27日（金）夜、私に電話が入りました。市内小学校に通学する生徒さんのご家族からです。「どうも様子がおかしいので、子どもに聞いたら、涙を流して話した」「いじめられている」と、ご家族から対応を相談受けました。27日は、夜半となっていましたので、週明け11月30日（月）午前10時に市役所でお会いする約束をしましたところ、11月28日（土）には、いじめの内容をFAX頂きました。内容は、以下のとおりです。

①いろいろな場面で身体を押してくる。（背中）（肩）

階段を降りている時。

虫がいるところに背中を押してくる。

歩いている時、女子トイレに向かって押してきた。

トイレに行く時に通せんぼして、通らせないようにしてくる。

②手と足をつねってきたり、叩かれたり、太ももを強く押してきたりする。

帰る時に廊下に並んだ時や、休み時間などいろんな場面で、先生が見ていない時に。

後ろからワザと足や靴をしつこく何回も蹴飛ばしてくる。

（うら面につづく）

③怒ると、笑って逃げて行ったり、「だまれ」「くそやろう」「ウザッ!」と言ってくる。

④同じ子から、こんなことが、ここニヶ月位続いている。

との内容です。

11月30日、朝9時に被害生徒の保護者が、担任に通報。同日10時に、私と被害生徒ご家族とが教育委員会学校指導課へ対応を求めました。その後、当該学校と指導課は生徒への聞き取りで「いじめ」の事実を確認したとのこと。当該学校が、「いじめ」について指導課へ連絡したのは30日朝がはじめてと思われます。当該学校のいじめ防止行事は、「いじめを見逃さない日」の、いじめ防止教育ビデオ鑑賞など、6月3日から11月16日までの間で15件。他に教育相談週間2回など取り組まれていると文書にあります。が、早期発見は出来ているのでしょうか？ 以下、5点、教育長に伺います。

- 1 校内パトロールを実施している **いじめ対策監** はこの「いじめ」事態を把握出来ていなかったのは事実か。
- 2 担任がこの「いじめ」事態を **いじめ対策監** へ報告していなかったのは事実か。
- 3 「2の理由」とされるものは何か。
- 4 保護者が学校へ通報に来校した時、担任が1人で対応したと聞かすが、なぜ、**いじめ対策監** が同席しないのか。
- 5 具体の事例は、小学校6年生であるが、すぐ卒業であり、今後同じ中学校で3年間通学する実態になる。小学校で改善されなければ、中学校でいじめのエスカレートが危惧されるが、どのように対応するか。また、中学校長への小学校いじめ事案の引継ぎは、正確に行われるのか。

教育長答弁(概略) ()は、松原のりかず解説

①27日以前については、学校は「いじめ」事案として認知していません。②学校は「いじめ」事案でなく、**生活指導事案**と認識、いじめ対策監を含む職員間で情報共有していた。(2ヵ月「いじめ」の認識での情報共有はなかったと、認めている。)③学校は観察していたが、「いじめ」事案と認知できませんでした。被害児童は「先生が見ていないときにやられた」と発言しており、今回の家庭からの情報は極めて重要です。④始業前30分であり、対応できなかった。いじめ対策監に8時30分報告。9時対策監から教育委員会へ報告。その後、対策監と担任が児童に聞き取り。加害児童保護者に15時半に報告。「家庭で良く聞かせ、見ていく」と謝罪。⑤文書等で確実に情報共有しています。年度末には、複数の中学校の職員が小学校に出向き参観。担任・いじめ対策監と会議し、情報を引き継ぎます。



松原のりかず
☎058-253-2500